

かすがい

市議会だより

第47号

2008年2月

第5回 市議会定例会

市民の声を市政へ。18名が一般質問!



条例案・一般議案など24件を承認・可決・同意

平成19年第5回定例会

平成19年第5回定例会は、11月29日から12月14日までの16日間の会期で開催されました。

定例会には、補正予算案4件、条例案9件、一般議案6件、人事案件4件、議員提出議案1件が提出され、原案のとおり、可決・同意・推薦決定されました。

請願は3件で、1件採択、2件不採択となりました。

また、一般質問は、12月11、12日に18名の議員が市政の課題について、当局の考え方をただしました。

補正予算案

総額18億355万4,000円の補正予算です。

平成19年度一般会計補正予算

不妊治療費等補助金や私立幼稚園施設整備補助等10億646万4,000円の補正です。

平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算

国庫負担金返還金等3億6,544万4,000円の補正です。

平成19年度介護保険事業特別会計補正予算

介護給付費準備基金積立金等4億1,607万6,000円の補正です。

平成19年度潮見坂平和公園事業特別会計補正予算

墓所整備基金積立金1,557万円の補正です。

条例案

事務分掌条例及び水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

下水道部と水道部を上下水道部とするものです。

市民経済部の事務分掌に「後期高齢者医療に関すること」を加えるものです。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

遠隔地から通勤するものに、交通費を支給するものです。

職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

名称を乳幼児医療費から「子ども医療費」とし、対象者を現行の入院・通院とも義務教育就学前から、入院は中学校卒業まで、通院は小学校3年生までに拡大するものです。

生活環境の保全に関する条例

社会経済活動や生活様式の変化に伴う生活排水による水質汚濁、自動車騒音等の「都市生活型公害」及び二酸化炭素による地球温暖化、フロンによるオゾン層の破壊などの「地球環境問題」、また事業所等の水質汚濁・騒音・振動・悪臭等の公害に対応するため、法

や愛知県条例より適用範囲を広げ、生活環境の保全についての条例を新たに定めるものです。

病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

医療安全管理室を病院安全推進室とするものです。

手数料条例の一部を改正する条例

都市計画法に規定する市街化調整区域に係る開発行為の許可の基準に関する条例を廃止する条例

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般議案

基本構想の改定

平成29年度を目標年次とし人と地域が輝き、安全安心で躍動する都市を目指すものです。

字の区域の設定及び変更

神領土地区画整理事業の施行に伴い、字の区域を設定及び変更するものです。

子どもの家の指定管理者の指定

子どもの家（4か所）の管理業務を指定し、行わせるものです。

指定団体・・社会福祉法人春日井市社会福祉事業団

勝川駅前地下駐車場の指定管理者の指定

勝川駅前地下駐車場の管理業務を指定し、行わせるものです。

指定団体・・勝川開発株式会社

勝川駅南口立体駐車場の指定管理者の指定

勝川駅南口立体駐車場の管理業務を指定し、行わせるものです。

指定団体・・勝川開発株式会社

愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する町の数の減少及び愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更

音羽町と御津町が豊川市に編入合併することに伴い規約を変更するものです。



人事案件

任期満了などに伴い、教育委員会委員に松田照美氏、公平委員会委員に佐藤隆氏の選任に同意しました。

また、任期満了に伴い、人権擁護委員に神戸康彦氏、天野幹雄氏の推薦に了承しました。

請願審議

第5回定例会に3件の請願が提出され、委員会に付託し、審査しました。

その後、本会議で委員長の審査結果報告の後、採決し結果は次のとおりです。

- 後期高齢者医療制度の中止、撤回を求める請願書.....不採択
- 保育・学童保育・子育て支援の拡充と予算の増額を求める請願書.....不採択
- 公団住宅売却・削減計画の見直し国会付帯決議の全面実現のための意見書提出を求める請願書.....採択

議員提出議案

最終日に議員提出議案1件を提出し、審議しました。
都市再生機構賃貸住宅居住者の居住の安定に関する意見書

平成20年第1回定例会予定

2月19日	本会議 市政方針説明)
2月21日	本会議 市政方針に対する質問)
2月22日	本会議 市政方針に対する質問) (提案理由説明)
2月25日	本会議 提案理由説明)
2月27日	本会議 質疑、委員会付託)
2月29日	文教経済委員会
3月3日	厚生委員会
3月4日	建設委員会
3月5日	総務委員会
3月10日	本会議 (一般質問)
3月11日	本会議 (一般質問)
3月13日	本会議 採決)

議事の都合により、日程が変更になる場合があります。 問い合わせ 議事課 ☎85 - 6492)

第5回定例会

上程議案と審議結果

補正予算案..... 4件	
平成19年度一般会計補正予算.....	原案可決(全会一致)
平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算.....	原案可決(全会一致)
平成19年度介護保険事業特別会計補正予算.....	原案可決(全会一致)
平成19年度潮見坂平和公園事業特別会計補正予算.....	原案可決(全会一致)
条例案..... 9件	
事務分掌条例及び水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
生活環境の保全に関する条例について.....	原案可決(全会一致)
病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
手数料条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
都市計画法に規定する市街化調整区域に係る開発行為の許可の基準に関する条例を廃止する条例について.....	原案可決(全会一致)
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について.....	原案可決(全会一致)
一般議案..... 6件	
基本構想の改定について.....	原案可決(賛成多数)
字の区域の設定及び変更について.....	原案可決(全会一致)
子どもの家の指定管理者の指定について.....	原案可決(全会一致)
勝川駅前地下駐車場の指定管理者の指定について.....	原案可決(全会一致)
勝川駅南口立体駐車場の指定管理者の指定について.....	原案可決(全会一致)
愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する町の数の減少及び愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について.....	可 決(全会一致)
人事案件..... 4件	
教育委員会委員の選任の同意について.....	同意(全会一致)
公平委員会委員の選任の同意について.....	同意(全会一致)
人権擁護委員の推薦について.....	異議なし(全会一致)
人権擁護委員の推薦について.....	異議なし(全会一致)
議員提出議案..... 1件	
都市再生機構賃貸住宅居住者の居住の安定に関する意見書.....	原案可決(全会一致)



市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、18名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり27項目の一般質問を行いました。一般質問は市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

1 A E Dの配置について

質問者 政木 りか 担当 (総)総務課他

【質問】A E Dは設置しただけでは不十分であり、すぐに取りに行ける範囲に設置することが大変重要である。現在、主な公共施設への配備はされているが、設置場所や設置位置が市民には周知されていない。A E Dの設置場所をマップなどに表示するべきである。また、小中学校への設置も必要と考えるが、A E Dの配置状況と小中学校等への設置についての考えを問う。

【答弁】A E Dは市庁舎を始めとして28施設に29台、貸出用として市民活動推進課に2台配置しているところであり、設置してある施設の周知、施設内における設置場所の表示については、今後検討してまいります。小中学校では、体育や部活動などで体調不良となり、心肺停止に至ることも想定されます。子どもたちの大切な命を救うためにA E Dは必要なものであり、今後配置を進めてまいります。



2 保健師の確保について

質問者 中藤 幸子 担当 健康推進課他

【質問】市民の健康のため、市では「春日井市保健計画」及び「かすがい健康プラン21」に掲げた事業を行っている。しかし、この事業の担い手である保健師の数は、十分とはいえない。4月からは、国民健康保険における特定健診・保健指導も始まることから、より保健師の役割は重要となってくる。保健師の確保についてどう考えているのか。どうなっているのか。

【答弁】ライフステージに合わせた事業実施や、相談・指導業務を行うため、保健師の体制を強化し、適切に業務が遂行できる体制の確保に努めます。国保においても、特定健診等の実施のみならず、受診勧奨、診査や指導後のフォロー、保健指導への誘導など新たな業務が発生するこ



とから増員を計画しています。特定健診等は、保健師の配置転換や業務の外部委託により対応しますが、受診者の状況等をみて必要であれば増員を考えてまいります。

3 防犯灯について

質問者 山際 喜義 担当 市民安全課他

【質問】防犯のため夜間照明は3ルクス程度の照度確保が望まれる。現在の20W蛍光灯では3ルクスの確保が難しく、明るい省エネ32W蛍光灯の設置が必要。この普及のため現行の設置費補助の見直しと、新たに蛍光灯の維持管理費に対する補助が必要である。また防犯の環境設計のため、春日井市安全なまちづくり条例の制定が望まれるが考えを問う。

【答弁】安全なまちづくり条例の策定は、安全なまちづくり協議会の安全都市研究部会が今年度、条例の必要性も含めた調査・研究を行っており、その成果を踏まえて考えてまいります。防犯灯関連の補助を始め、自治活動の推進を図ることを目的とする幾つかの支援策については、これらが有効な支援策となるよう町内会活性化研究委員会において、総合的に検討してまいります。



4 障がい児(者)支援策の拡充について

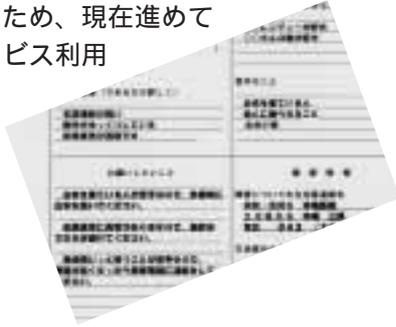
質問者 田中 千幸 担当 福祉課

【質問】自閉症など、障がいのある方の医療機関での円滑な受診ができるように、特性や配慮してほしい事を記入した「受診サポート手帳」の作成について問う。従来の日帰りショートステイに代わる日中一時支援が行われているが、実質的に利用できるように、施設の拡充及び土・日利用など拡大を求める声がある。その実状と取り組みについて問う。

【答弁】障がいのある方が円滑に医療を受けるためにどのような方法が適切なのか、受診サポート手帳の作成も含め検討してまいります。

日中一時支援の拡充については、サービス事業所が

減少した実情があるため、現在進めている障がい者のサービス利用意向や事業者のサービス実施意向の調査結果を踏まえ、対応策を検討してまいります。



5 春日井市住民自治基本条例について

質問者 成田 初敏 担当 企画課

【質問】今日、国において政治改革が急進展するなか、地方分権により、自己決定・自己責任の考え方に基づく自治体運営が求められます。我が市では、持続的成長を可能とする、市民が地域を支えていく協働推進を意識した第五次総合計画の改定に伴い、市民参画・協働のまちづくりを完成するために、住民自治の基本的な責務・定義を整える基本条例制度の必要性を問う。

【答弁】第五次総合計画では主要な柱のひとつに「協働」を置いており、これからのまちづくりには市民参画が必要不可欠です。協働や参画の推進に向けての条例の制定やルールづくりについては、市民の皆さんの理解を得ながら、市の実情に相応しい仕組みづくりに向け、十分に時間をかけて調査・研究していく必要があると考えています。

6 子どもの安全対策について

質問者 熊野 義樹 担当 学校教育課他

【質問】児童・生徒に関する交通事故や犯罪などが多発しています。通学路での安全対策等について、どのように考えているのか。

子ども達に交通ルール・マナー・防犯等についての意識を高めるため、学校での取り組みをどのように指導されているのか、考え方を問う。

【答弁】各学校では、通学路の調査、点検を行うとともに、地域においては、多くの皆様により子どもたちの安全・安心を見守っていただいております。また、交通ルール・マナーなどを学ぶために、警察署や交通安全協会などによる「小学校交通安全教室」が実施されています。ボランティア団体が「通学路こども110番の家」を掲載した安全マップの作成や、通学路診断を行い、危険箇所等の啓発を行っております。また、平成19年度より下校時間に青パトによるパトロールを実施しております。



7 市指定ゴミ袋導入後の現状とレジ袋有料化について

質問者 堀尾 達也 担当 ごみ減量推進課

【質問】平成19年2月に実施された指定ゴミ袋導入後、まもなく1年を迎えるが、導入後の現状はどうか。また、ゴミの減量に大きな影響を及ぼす「レジ袋の削減」については市民生活に密接に関わる課題である。スーパーなど小売店による自主的レジ袋有料化を含め、今や全国的に広がりつつあるレジ袋有料化について、本市の考え方を問う。

【答弁】指定ごみ袋制度の導入により、家庭ごみは約10%減少する一方、資源は約18%増加しており、分別の徹底が図られています。また、レジ袋の有料化は、ごみの減量及び二酸化炭素の削減に大変有効であり、「ごみゼロ社会推進あいち県会議」が創設した「レジ袋削減取組店制度」の円滑な実施に向けて支援していきたいと考えております。



8 文化財の保護及び活用について

質問者 丹羽 一正 担当 文化財課

【質問】二子山公園の八二ワの館は、展示コーナーで二子山古墳から出土した埴輪等古墳に関するパネルが展示されているが、定期的に市内の遺跡から出土した遺物等を展示し、コーナーを充実してはどうか。又市民へ郷土の歴史や地域の文化財の情報提供をし、歴史や文化財への関心を高めるため、生涯学習参加型の文化財ボランティアの立上げ・養成をしてはどうか問う。



【答弁】市民の方々に文化財への関心や理解を深めていただけるよう展示スペースの拡大を図り、市内の出土遺物等を定期的に展示替えする等活用の充実に努めてまいります。また、自分のまちの歴史に愛着を持ち伝統文化の保護・保存、継承の担い手として、民俗資料室や郷土館等を訪れる小学生や見学者に解説できるよう、文化財ボランティアの育成を図ってまいります。



9 妊産婦・乳幼児の防災対策について

質問者 小原 哉 担当 市民安全課

【質問】東京都では平成19年4月に、妊産婦・乳幼児向けの防災に関する知識の啓発についてのパンフレットが出されたが、市でも妊産婦・乳幼児向けの防災に関する知識の啓発についてのパンフレットを配布すべきではないか。また市のホームページの子育ての所に、妊産婦・乳幼児向けの防災の項目を増やしたらと思うが、それぞれについて市の考え方を問う。

【答弁】妊婦や乳幼児を持つ母親への防災に関する啓発活動については、ご例示いただいた他の都道府県や愛知県の実況を調査し、一般市民に対する啓発と異なる部分について研究してまいりたいと考えております。また、市のホームページの中での防災関係へのリンクのご提案がありました。貴重なご意見として承っております。



10 学校給食費について

質問者 前田 扶美子 担当 学校給食センター

【質問】現状では未納金の徴収が難しく、その責任が行政側か学校側かはっきりしない状態であることから、学校現場では非常に困っている。給食費の徴収責任はどこにあるのでしょうか。また給食費を市から補てん

されている準要保護者の中で、未納になっている人達の徴収方法はどのようにしているのか問う。

【答弁】給食費の徴収につきましては、まず学校にお願いしてはいますが、学校全体で取組体制を整え、教育委員会と学校が連携し未納の解消に努めます。また、準要保護世帯の徴収につきましては、他の方と同様毎月納入をお願いしてはいますが、学校給食は保護者の負担により成り立っていることから適切に負担していただくよう周知します。



11 子どもを守る安全対策について

質問者 佐々木 圭祐 担当 (教)総務課他

【質問】子どもを取り巻く環境は、非常に深刻な状況にあります。本市ではさまざまな防犯対策が実施されています。登下校時や外で遊ぶ時の防犯ブザーの携帯している状況と、日常における事故や不審者の情報メール配信などの普及状況を問う。さらに子ども110番や安110番のステッカーの大きさや、子どもや一般への周知を含め、今後の安全対策の見直しを問う。

【答弁】防犯ブザーは児童がランドセルにつけて、登下校時に携帯しています。今後も、安全意識の普及・啓発に努め、外出時の防犯ブザーの携帯について指導してまいります。主に不審者情報をはじめとする緊急情報を、学校から希望する保護者向けに配信しており、加入率は約8割から9割となっています。メール配信登録は、この半年で2倍以上に増加し、1,500人以上の登録がありますが、さらに広報に掲載するなど増加を図ります。また、安110番のステッカーは、作り替えの時期に検討いたします。



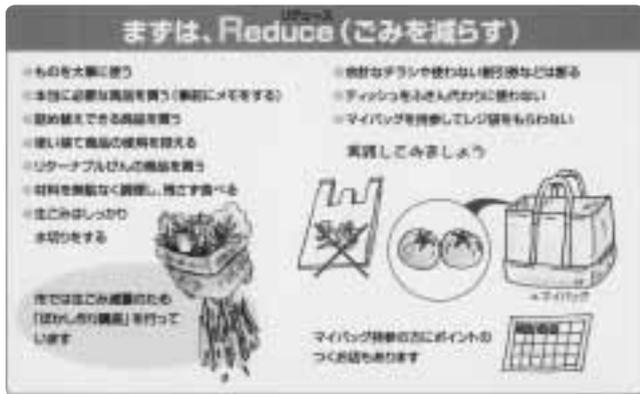
12 一般廃棄物会計基準について

質問者 後藤 正夫 担当 ごみ減量推進課

【質問】国において「一般廃棄物基準」が示された。自治体が行うゴミ処理・リサイクル事業を経費からとらえ、市民が情報を共有し、協働してゴミ問題の解決に活用していくための会計である。原価計算書、行政コスト計算書、資産・負債一覧表の財務書類を作成することで、一般廃棄物処理事業の現状が把握でき、比較資料として有効である。本会計の導入と活用を問う。

【答弁】現在、国の「一般廃棄物会計基準」に基づいて、各種の会計計算書の作成を進めています。

今後は、廃棄物処理事業の効率的な運営や改善に向けた分析資料として、さらには処理コストを含め、各種計数など市民や事業者への情報提供資料として積極的に活用していきます。



13 食育活動について

質問者 水野 義彦 担当 学校給食センター

【質問】物が豊かになった現代社会において、改めて「食べる」ことの大切さ「食べられる」ことの有り難さを子どもたちと共に考え、食育を通して健全な心の育成が求められる。文科省でも学校給食で食育を重視する考えを示している中、春日井市としての『食育』への取り組みの現状、栄養教員の数と今後の位置づけについて問う。

【答弁】本市では小学校1年、5年、6年生、中学校1年生を対象に学校栄養職員が各クラスに出向き、食に関する様々な指導を行っています。また、地元の農産物の給食への活用、収穫体験、生産者との交流等も実施しています。栄養教員は現在配置されていませんが法の改正により栄養教員の役割が明確化される見込みがありますので動向を見守っていきます。



14 妊婦健康診査について

質問者 伊藤 建治 担当 健康推進課

【質問】妊婦健診を一度も受診しないで出産時に病院に駆け込む、飛び込み出産が社会問題になっている。安全な出産のためには妊婦健診をきちんと受診するこ

とが必要。厚労省も妊婦健診の公費負担について指針を示すなど、健診にかかる妊婦の負担を軽減することが求められている。本市も公費での妊婦健診の回数及び内容の充実を図る必要があるのではないかと。

【答弁】妊婦健診の公費負担の回数については、通常は、健康保険の適用外のため若い夫婦の経済的負担も大きいので、健康診査費用の軽減を図り、積極的な受診を促すため、国の指針にも示されておりまして、拡充に向け検討しているところです。又、健診の内容については、国の動向や、周産期医療等を見極め、充実に向けて検討していきます。



15 愛知県が進める市町村消防の広域化計画に対する見解と対応について

質問者 内藤 富江 担当 (消総務課)

【質問】平成18年6月消防組織法が改正され、愛知県は県内の消防本部を統合する消防広域化推進計画を進めている。春日井市は尾張中北部地域と統合され、88万人の人口に一箇所の消防本部にする案である。広域化は消防力の低下につながり、メリットもないと思うがどうか。また入るかどうかは各自治体の判断である。広域化に春日井市が参加しない事を求める。

【答弁】広域化によるメリットとしては、災害発生時における初動体制の強化、本部機能の統合などの効率化による現場活動要員の増強、救急業務・予防業務の高度化及び専門化に対応することができるなどがあげられております。広域化が本市にどのように影響を与え、どのようなメリット・デメリットがあるのか、慎重に検討して対応してまいりたいと考えております。



16 基地対策・平和行政を所管する課の設置を求める

質問者 宮地 ゆたか 担当 行政経営課

【質問】基地対策の担当は環境政策課だが、市の置かれた現状から、適切ではないと考える。経過を問う。

他市では基地対策課・企画課・総合政策課などが担当している。空港利用の中心は自衛隊機になり、市内には、高蔵寺弾薬庫、西山駐屯地がある。装備をし、小銃の引き金に指をかけて部隊が市内を行進する。この現実に対応するに適切な課が担当すべきではないか。

【答弁】昭和42年、当時の企画部に交通・公害を担当する部署を設置、51年に公害課に空港担当を設置し事務の所管を替えております。その後、54年に空港対策室を設置し、空港周辺、航空機騒音の対策を所管することとしました。現在は環境部で航空機の騒音監視、安全飛行、周辺環境対策を所管しており、当面は現行組織により対応してまいります。

17 福祉行政について

質問者 内田 謙 担当 生活医療課

【質問】2008年4月から75歳以上の高齢者による後期高齢者医療制度がスタートする。この制度は、小泉内閣のときに進められた医療分野における構造改革によるもので、ねらいは医療費の抑制である。後期高齢者医療制度では、医療費に包括払い（定額制）が導入される。包括払いでは、必要な医療サービスが受けられるか心配だ。この点について問う。

【答弁】後期高齢者医療制度は、高齢者世代と現役世代の負担を明確にするため、制度の財源として公費による負担金、現役世代からの支援金のほか、高齢者自身にも一定の負担をしていただき、社会全体で支えていく制度です。診療報酬体系は、後期高齢者の心身の特性等にふさわしい医療が提供できるように、現在、国において議論がなされているところです。



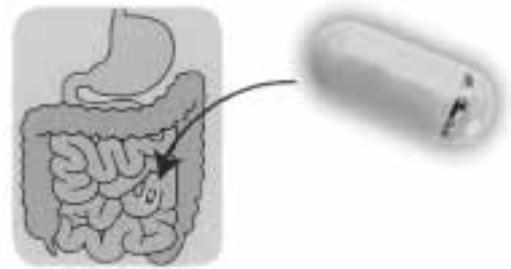
18 医療技術の向上について

質問者 伊藤 隆司 担当 (病)管理課

【質問】カプセル内視鏡とは、カプセル型のカメラを飲み込み、腹部にセンサーを貼付、記録装置をベルトで腰に付けて普通に生活をした8時間後に病院に戻り、装置を取り外せば終了という簡単なものであります。

暗黒の臓器と言われた小腸は、内臓されたカメラで毎秒2枚の写真を撮影することにより、早期の発見が可能になります。医療のレベルアップのため導入する考えは。

【答弁】市民病院は、地域の基幹病院として医療水準の向上を図るため、高度医療機器の導入を積極的に進めています。カプセル内視鏡は、平成19年12月末に導入しましたダブルバルーン内視鏡とともに、小腸の病変の診断に有用な検査方法であると考えております。今後、導入については医療器械の更新計画を考慮しながら、調査・研究をしてまいります。



掲載以外の質問項目

- 緊急地震速報の導入について
- 保育園事業者公募について
- 心の病について
- 木造住宅の耐震対策について
- F2支援戦闘機について
- 空港周辺での航空機事故に対応した消防能力の強化について
- 生活保護について
- 後期高齢者支援金と国保について
- 教育行政について

編集後記

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新しい年を御家族ともども迎えられ、すこやかに過ごしのことと思います。

師走の議会中に編集作業に取り掛かり、新年の1月9日までに三度編集作業をおこない、本年初の市議会だよりをお届けすることができました。市議会だよりも発刊から8年が経過し少しずつ内容を改善してきました。市民の皆様にも、より親しまれ目にとめていただけるよう、今回から一般質問議員名の通称名使用、表紙の刷新を致しました。

今年も皆様に議会の情報発信の手段として市議会だよりの編集に努めてまいります。

編集委員一同